

商社、国際機関職員、外資系企業などへの就職をめざす

グローバル化社会の最前線で活躍できる英語の運用能力を重点的に身につけることをめざす履修モデルです。

●：選択科目 ●：「選択必修科目枠」配置科目 ●：必修科目

区分		授業科目				
		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養 教育 部門	基軸科目		●現代に生きる			
	発展科目	人間を考 える	●芸術と人間	●心の科学		●哲学
		社会に生 きる	●海外留学入門 ●市民と社会	●科学と技術の歩 み		
		自然と生 きる	●地球と宇宙		●数と論理	
	情報教育科目		●コンピュータリ テラシー ●情報社会と倫理			
	体育科目					
キャリア教育科目			●キャリア形成論			
専 門 教 育 部 門	外国語科 目群	第一外国語 科目	●英語コミュニ ケーションⅠ（基 礎1） ●英語コミュニ ケーションⅡ（基 礎2） ●英語リーディ ングⅠ（基礎1） ●英語リーディ ングⅡ（基礎2） ●英語ライティ ングⅠ（基礎1） ●英語ライティ ングⅡ（基礎2） ●英語ディスカ ッションⅠ（基礎1） ●英語ディスカ ッションⅡ（基礎2）	●英語コミュニ ケーションⅢ（応 用1） ●英語コミュニ ケーションⅣ（応 用2） ●英語リーディ ングⅢ（応用1） ●英語リーディ ングⅣ（応用2） ●英語ライティ ングⅢ（応用1） ●英語ライティ ングⅣ（応用2） ●英語ディスカ ッションⅢ（応用1） ●英語ディスカ ッションⅣ（応用2）	●英語コミュニ ケーションⅤ（発 展） ●英語リーディ ングⅤ（発展） ●英語ライティ ングⅤ（発展） ●パブリック・ス ピーキング ●ディベート	
			第二外国語 科目		●フランス語入門 Ⅰ ●フランス語入門 Ⅱ ●フランス語初級 Ⅰ ●フランス語初級 Ⅱ	
	専門基礎科目群		●英語学概論 ●英米文学概論 ●異文化理解 ●アジアを学ぶ ●英語音声学 ●地域研究論	●英語の構造と仕 組み ●コミュニケー ションのための英 文法 ●アメリカ文学研 究 ●インタラクティ ブ・イングリッ シュⅠ ●インタラクティ ブ・イングリッ シュⅡ ●異文化コミュニ ケーション ●日本文学研究 ●日本の伝統文化		
	専門基幹科目群			●日本近現代史 ●第二言語習得論 ●イギリス地域研 究	●国際フィールド ワークⅠ（英語 圏） ●ベトナムの言語 と文化Ⅰ ●ベトナムの言語 と文化Ⅱ ●メディア・イン グリッシュⅠ ●メディア・イン グリッシュⅡ	
専門展開科目群				●英語通訳演習 ●英語プレゼン テーション ●国際経済論	●ビジネス英語 ●ヨーロッパの文 学と社会 ●近現代の日中関 係	
ゼミナール科目群		●基礎演習Ⅰ ●基礎演習Ⅱ		●ゼミナールⅠ ●ゼミナールⅡ	●ゼミナールⅢ ●ゼミナールⅣ	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要で

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のう
え、履修をしてください。

旅行社、製造、運輸などへの就職をめざす

アジアをはじめとする海外の事情に通じ、異文化や国際社会に対して深い理解力を重点的に身につけることをめざす履修モデルです。

●：選択科目 ●：「選択必修科目枠」配置科目 ●：必修科目

区分		授業科目				
		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養 教育 部門	基軸科目	●現代に生きる				
	発展科目	人間を 考える	●歴史と文化	●心の科学	●文化人類学	
		社会に 生きる	●経済学 ●市民と社会		●ジェンダーと社 会	
		自然と 生きる		●数と論理		●人間と自然
	情報教育科目	●情報社会と倫理				
	体育科目	●健康・スポーツ科 学Ⅰ ●健康・スポーツ科 学Ⅱ				
キャリア教育科 目		●インターンシップ				
専門 教育 部門	外国語 科目群	第一外 国語科 目	●英語コミュニ ケーションⅠ（基 礎1） ●英語コミュニ ケーションⅡ（基 礎2） ●英語リーディ ングⅠ（基礎1） ●英語リーディ ングⅡ（基礎2） ●英語ライティ ングⅠ（基礎1） ●英語ライティ ングⅡ（基礎2） ●英語ディスカ ッションⅠ（基礎1） ●英語ディスカ ッションⅡ（基礎2）	●英語コミュニ ケーションⅢ（応 用1） ●英語コミュニ ケーションⅣ（応 用2） ●英語リーディ ングⅢ（応用1） ●英語リーディ ングⅣ（応用2） ●英語ライティ ングⅢ（応用1） ●英語ライティ ングⅣ（応用2） ●英語ディスカ ッションⅢ（応用1） ●英語ディスカ ッションⅣ（応用2）	●英語コミュニ ケーションⅤ（発 展） ●英語リーディ ングⅤ（発展） ●英語ライティ ングⅤ（発展） ●パブリック・ス ピーキング ●ディベート	
		第二外 国語科 目		●中国語入門Ⅰ ●中国語入門Ⅱ ●中国語初級Ⅰ ●中国語初級Ⅱ	●中国語中級Ⅰ ●中国語中級Ⅱ ●中国語応用Ⅰ ●中国語応用Ⅱ	
	専門基礎科目群	●英語学概論 ●英米文学概論 ●異文化理解 ●アジアを学ぶ ●英語音声学 ●日本中世近世史 ●地域研究論	●イギリス文学研 究 ●アメリカ文学研 究 ●異文化コミュニ ケーション ●多文化共生論 ●日本の伝統文化			
	専門基幹科目群		●日本近現代史 ●韓国地域研究 ●キリスト教文化 論 ●イスラム教文化 論	●タイの言語と文 化Ⅰ ●タイの言語と文 化Ⅱ ●国際フィールド ワークⅡ（非英語 圏）		
	専門展開科目群			●国際関係論 ●アセアン事情	●国際経済論 ●近現代の日中関 係 ●近現代の日韓関 係	
ゼミナール科目 群	●基礎演習Ⅰ ●基礎演習Ⅱ	●基礎演習Ⅲ ●基礎演習Ⅳ	●ゼミナールⅠ ●ゼミナールⅡ	●ゼミナールⅢ ●ゼミナールⅣ		

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要
です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認
のうえ、履修をしてください。

NGO・NPO職員、公務員、メディアなどへの就職をめざす

日本の歴史、文化、社会を深く理解し、日本の立場や事情を世界に発信する能力を備え、グローバル化社会を切り開いて行く力を重点的に身につけることをめざす履修モデルです。

●：選択科目 ●：「選択必修科目枠」配置科目 ●：必修科目

区分		授業科目				
		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養 教育 部門	基軸科目	●現代に生きる				
	発展科目	人間を考える	●歴史と文化 ●芸術と人間		●文化人類学	
		社会に生きる 自然と生きる	●経済学	●日本国憲法	●科学と技術の歩み	
	情報教育科目		●コンピュータリテラシー ●ウェブデザイン ●情報社会と倫理			
	体育科目					
	キャリア教育科目		●日本とグローバル人材		●インターンシップ	
専門 教育 部門	外国語科目群	第一外国語科目	●英語コミュニケーションⅠ（基礎1） ●英語コミュニケーションⅡ（基礎2） ●英語リーディングⅠ（基礎1） ●英語リーディングⅡ（基礎2） ●英語ライティングⅠ（基礎1） ●英語ライティングⅡ（基礎2） ●英語ディスカッションⅠ（基礎1） ●英語ディスカッションⅡ（基礎2）	●英語コミュニケーションⅢ（応用1） ●英語コミュニケーションⅣ（応用2） ●英語リーディングⅢ（応用1） ●英語リーディングⅣ（応用2） ●英語ライティングⅢ（応用1） ●英語ライティングⅣ（応用2） ●英語ディスカッションⅢ（応用1） ●英語ディスカッションⅣ（応用2）	●英語コミュニケーションⅤ（発展） ●英語リーディングⅤ（発展） ●英語ライティングⅤ（発展） ●パブリック・スピーキング ●ディベート	
		第二外国語科目		●韓国語入門Ⅰ ●韓国語入門Ⅱ ●韓国語初級Ⅰ ●韓国語初級Ⅱ		
	専門基礎科目群		●英語学概論 ●英米文学概論 ●異文化理解 ●アジアを学ぶ ●英語音声学 ●日本中世近世史	●英語の構造と仕組み ●コミュニケーションのための英文法 ●異文化コミュニケーション ●多文化共生論 ●日本文学研究 ●日本の伝統文化 ●日本の先端文化		
	専門基幹科目群			●日本近現代史 ●海外研修 ●日本の政治 ●パブリックリレーションズ	●インドネシアの言語と文化Ⅰ ●インドネシアの言語と文化Ⅱ ●現代の日本社会	
	専門展開科目群				●日本のものづくり ●近現代の日中関係 ●近現代の日韓関係	●ビジネス英語 ●日本のツーリズム ●アセアン事情 ●国際経済論
	ゼミナール科目群		●基礎演習Ⅰ ●基礎演習Ⅱ		●ゼミナールⅠ ●ゼミナールⅡ	●ゼミナールⅢ ●ゼミナールⅣ

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。